

旧国立駅舎の活用に関する懇談会

JR 国立駅前に再築される「旧国立駅舎」の素敵な活用をみんなで考えよう！

開催報告

1. 目的

2020年に再築予定の旧国立駅舎について、市民の皆様や興味関心のある方々から活用の意見・アイデアをいただくため、ワークショップ形式の意見交換懇談会を実施しました。



2. 実施概要

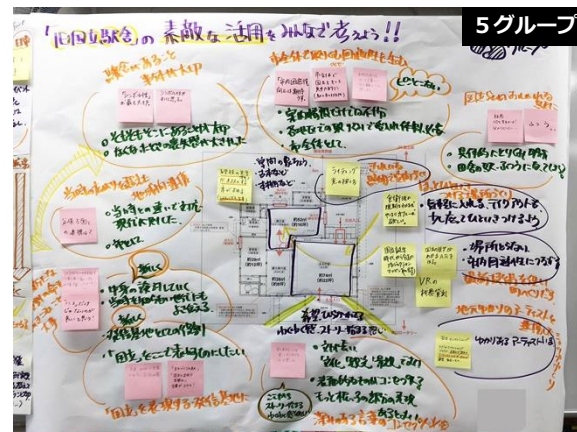
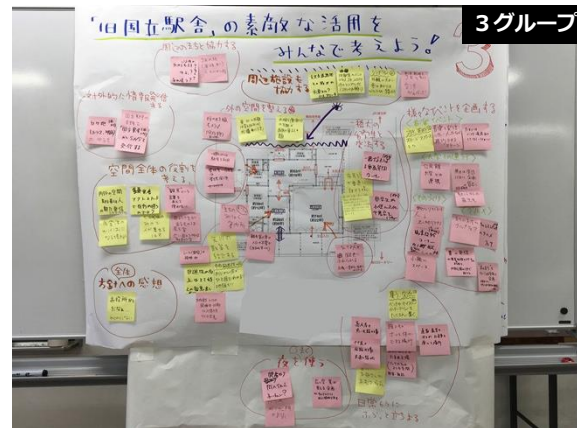
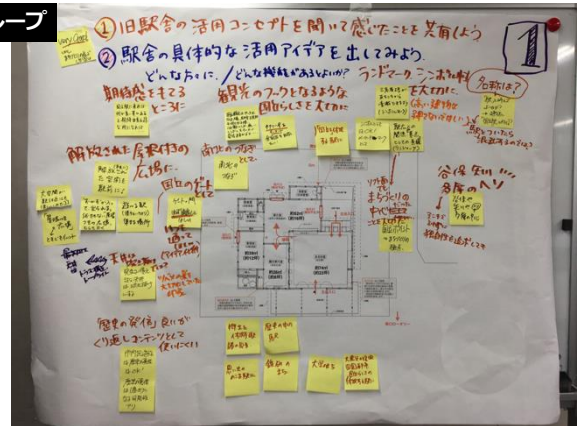
より多くの方々からの参加を得るため、平日・休日の2回（①・②とも同内容）開催し、延べ70名の皆様にご参加いただきました。実施概要は、下表のとおりです。

日 時	①2017(平成29)年10月14日(土) 10:00~12:30 ②2017(平成29)年10月17日(火) 19:00~21:30
会 場	①くにたち市民総合体育館 2階第1・2会議室 ②国立市公民館 地下1階ホール
参加人数	延べ70名(他、傍聴者3名) ①30名 ②40名(他、傍聴者3名)
広報等	<参加対象> ・市内在住・在勤・在学、または旧国立駅舎に関心のある市外の方で、会の開催趣旨に賛同いただける方 <広報手段> ・チラシの公共施設設置 ・ポスターの市内駅周辺掲示 ・ホームページ・SNS ・市報(9月5日号) ・プレスリリース(新聞等に掲載) ・商業関係者、まちづくり団体、大学等への参加依頼
プログラム	1. 開会あいさつ 2. オリエンテーション ・本日の趣旨説明 ・旧駅舎の概要の紹介 ・旧駅舎の活用案の紹介 ・グループワークの進め方 3. グループワーク テーマ①：旧駅舎活用コンセプトを聞いて感じたことを共有しよう テーマ②：旧駅舎の具体的な活用アイデアを出してみよう 4. グループ発表 5. 閉会あいさつ
主 催	国立市 国立駅周辺整備課

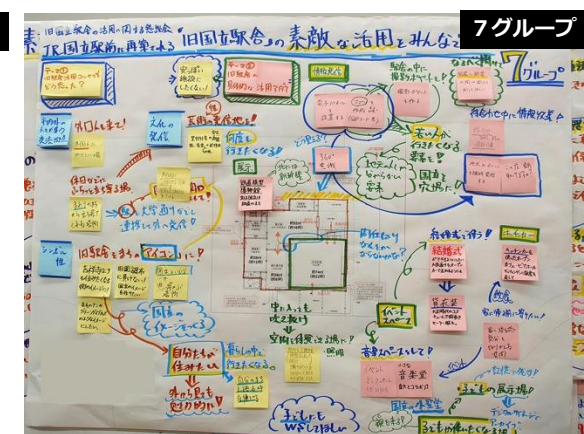
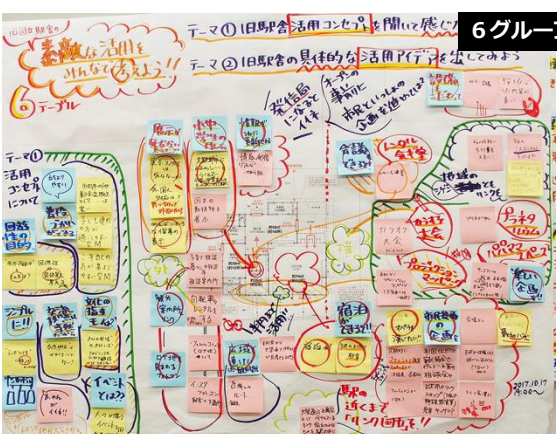
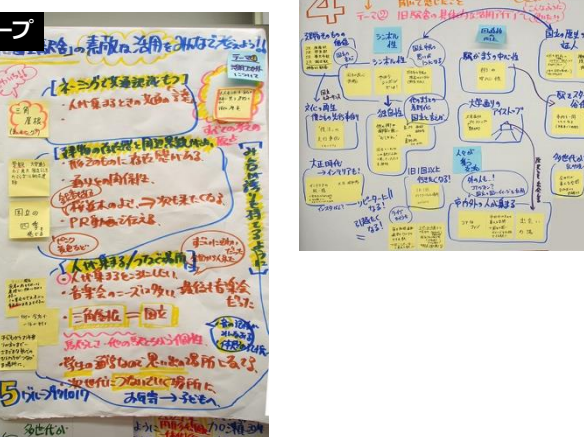
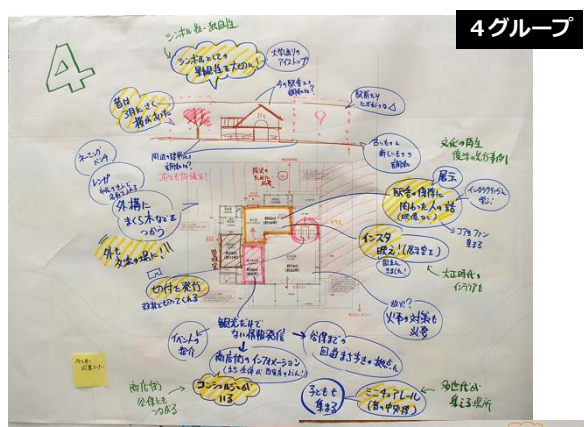
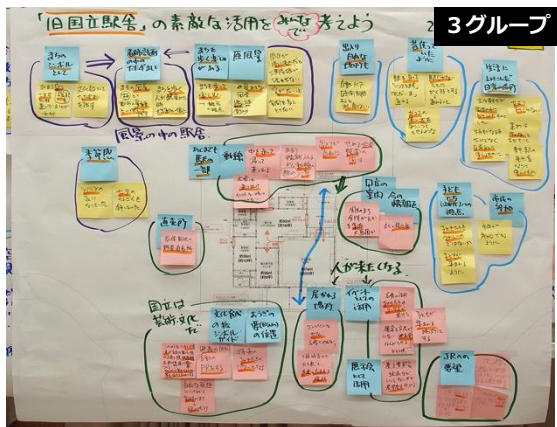
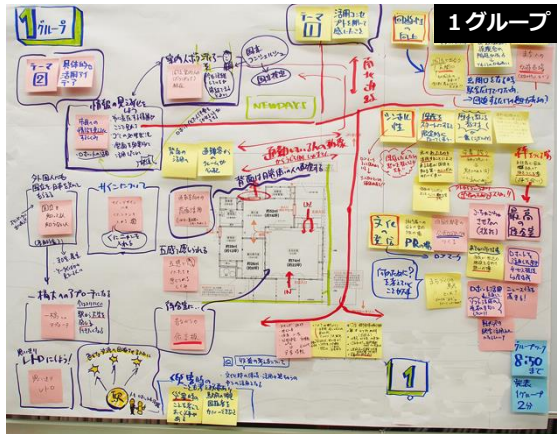


3. 当日の意見交換の成果

(1) 懇談会① (2017 (平成 29) 年 10 月 14 日 (土) 10:00~12:30)



(2) 懇談会② (2017 (平成 29) 年 10 月 17 日 (火) 19:00~21:30)



4. いただいたご意見の概要

(1) 旧駅舎活用コンセプト案を聞いて感じたこと

シンボル性	《存在＝シンボル性》 ●旧国立駅舎がそこにあること自体がシンボル性を生み出す大切なこと ・旧駅舎があること自体が大切 ・旧駅舎をまちの「アイコン」に ●活用コンセプト案の中でもシンボル性が最も重要 ・4つのコンセプト案の関係性→「シンボル性」が上位、その下に他の3つのコンセプトがぶら下がる ●建築物そのものの文化財としての価値も大切 《愛着を生む》 ●国立の人が愛着を持てば、市外の人にも魅力的に映るはず ・自分が住みたいと思うまち→外から見ても魅力的！ ●「三角屋根」など、現在のJR国立駅と混同しない名称・愛称が必要 ・名称に「駅」とついたら混乱するのでは？ ・人が集まる時の「三角屋根」を意識したネーミングで共通認識を持つては ●「国立大学町」の歴史を知り、誇りがもてるシンボルへ 《国立らしさ／駅舎らしさ》 ●旧国立駅舎を中心に文化的な香りのある「国立らしさ」を生み出したい ・「国立らしさ」を体現するような施設にしたい ・国立のイメージを作り出す場所にしたい ・国立らしいおしゃれな施設に ・他のまちとは異なる独自性・差別化が大切 ・どんどん普通のまちになっていってしまう ・今の文化的な薫り（国立らしさ）を大切にしたい！（商業ベースは違うかな） ・文化の再生復活の先導事例となってほしい（国立ルネッサンス） ●旧国立駅舎の特徴・個性をうまく活かして使いたい ・かつての駅としての使い方を彷彿させるように ・季節感のあるものに。かつては七夕の短冊を駅舎で飾っていた ・みんなが必ず通りたくなる場所にしたい 《大学通りや周辺との一体感》 ●大学通りと一体的に扱ってほしい ・大学通りのアイストッパに旧駅舎があることが魅力的 ・国立の都市の景観と一体として残したい ・桜のピンク色、銀杏の黄色など四季が感じられる大学通りが好き ・景観のよさをPR動画などで広く伝える ●旧国立駅舎がシンボリックになるよう周辺環境に配慮したい ・余計なものはあまりいらない（ビルとか） ・アイストッパとして旧駅舎が活きるように周辺とのコンセプトの調和を！
-------	--

市内外の 人々が集う 交流拠点	《市民のための場所》 ●市民のための日常の場所にしたい ・外からというより「市民のために」を大切に！ ・特別な時だけではなく、生活に溶け込んだ日常の場所 ・飾り物ではない。東京駅の展示室のように使えるものに ・休日などにふらっと立ち寄る場 《市外からの来訪者をリピーターに》 ●市外の人を訪れ、まちのリピーターになるような場所にしたい ・市外の人にも使いやすく！ ・市外の人のリピーターとなり、ゆくゆくは引っ越したくなる場所にしたい ・陳腐化する展示は行わないなど、繰り返し足を運んでもらえる工夫が必要 ・ライブカメラを置く ・国立の堅い印象を払拭し、市内外の人が集まれる場所にしたい 《学生が活躍する場所》 ●学生が訪れ活動したくなるような場所にしたい ・学生をうまく引き寄せる場に！ ・国立の主役は学生！ ・もっと学生がとどまるまちに！ 《多世代交流が生まれる場所》 ●多世代が交流し、つながりの生まれる場所にしたい ・乳幼児から高齢者まで多世代が集える場所にしたい ・絆をつくる場にしたい（最高の待合室） 《外国人や観光客が訪れる場所》 ●オリンピックに合わせ、外国人も来たくなる場所にしたい ●観光客で騒然とする状況は避けたい ●人が集まる・つなぐ場所にする ・旧駅舎お別れ会で開催した音楽会では全国から人が集まりすごい賑わいだったので、音楽会開催のニーズは多いと思う 《その他》 ●具体的にどのような交流をする拠点なのか考える必要がある ●交流拠点として開放する場合に、治安には気を付けたい ●建物規模から大勢の人が集まる交流拠点としての活用は難しいのではないか。シンボルとして国立を伝える役割がメインではないか
--------------------------------	--

市内回遊性の 向上	《旧国立駅舎を起点とした回遊性》 ●旧国立駅舎を国立の玄関口に、市全体へ広がる回遊性を高めたい ・市全体のまち歩きの出発点の場所へ ・いろいろな資源へ回遊させる入口に ・駅がまちの中心にあることが価値 ●谷保まで続く自然環境を巡る回遊性を生み出せると良い ・駅をスタートに谷保まで回遊できると良い ・谷保、矢川、多摩のヘソ 《回遊する先》 ●駅と商店街をつなぐインフォメーションセンターにしたい ●一橋大学を中心とした大学のまち ・今は構内に入りにくいので一橋大学へのアプローチに！ ●JR 国立駅の北側が鉄道のまち ●旧国立駅舎をきっかけにもっと JR 国立駅の乗降客が増えてほしい ●回遊性をもっと具体的に考える必要がある（ピンとこない・期待が薄い） ・玄関口となる時、旧駅舎だけではだめ→回遊するだけの魅力あるか？
文化の発信	《文化や芸術の発信》 ●文化や芸術といった情報を発信する場所になると良い ・芸術性の発信地に！ ・国立は「芸術、文化」だ ●国立の文化とは何か、改めて掘り下げる必要がある ・「文化的」の文化は何を指すか？→掘り下げて考えたい ・アカデミックな内容ではつまらない 《国立の歴史／昔の雰囲気》 ●国立の歴史や昔の雰囲気を感じられる施設にしたい ・天井の吹き抜け、ツバメを大切にしていた雰囲気など、昔の印象を活かす ・旧駅舎は国立の歴史の証人だ ・国立大学町の歴史を伝えたい ・大震災の復興、田園都市など国立らしさを体現する駅に ・インテリアも大正時代に合わせたい ●「歴史の発信」自体は良いが、コンテンツとしてマンネリ化してしまう懸念 《教育や教養の発信》 ●教養を身につけられるようなまちにしたい ・国立といえば文教都市→教養講座が増えてほしい ・教育の発信

その他 コンセプト・ アイデア・ 意見	《活用コンセプト》 ●活用コンセプトを分かりやすく伝えることが重要 ・活用コンセプトをもっとわかりやすく ・文章が長い。「文化」、「観光」、「景観」が良い ・「①つなぐ（共感、つながり）、②つむぐ（楽しさ）、③つづく（驚き、発見）」など、誰でも明快にコンセプトを理解できるように ●何のために旧国立駅舎を再築したのかを考えていくことが大事 ●活用コンセプトは期待感やワクワク感の持てるものが良い ・現コンセプト案はわくわくしない、お役所的 ・南側の出口を出たら希望感、開かれている感じ、わくわく感やストーリーが始まる感じが出るような言葉が良い ●活用コンセプトは旧国立駅舎単体だけでなく、まちとの関係にも焦点を当てたい ・各コンセプト案はとても良いが、建物単体のことが多い印象 ・深みのあるコンセプトが必要 ・まち全体のグランドデザインを 《国立市の PR》 ●国立市を大々的に PR する場所にしたい 《周辺との関係》 ●開かれた、入りやすい施設にしたい ・開放されている屋根付きの広場のイメージ ●JR 国立駅の北側とも連携した展開があると良い ・北側は国分寺市と連携できると良い 《市民の参加》 ●旧国立駅舎の活用に市民も参加できるように 《旧駅舎に付与する機能》 ●災害時について検討する必要がある ●機能をごちゃごちゃさせないようにすべき 《その他》 ●旧国立駅舎の正面以外からの見え方に注意が必要 ●美しい旧駅舎を保つ維持管理活動も大切 ●土地の有効利用のため地下室を造ると良い ●IOT を活用したまちづくりを実施したい ●旧国立駅舎の保存に尽力した人たちの想いを聴くことが大事 ●再築後は鉄道駅として使わないことにびっくりした
--	---

(2) 旧駅舎の具体的な活用アイデア

全体	《企画・運営》 ●活用の方針に沿った運営主体を置けると良い ●大学生が活用し、運営にも参画するような場所にしてはどうか ・ターゲットは大学生に！運営側にも巻き込み、大学生が使える場所に ・地元の人が学生にまちのことを教え、学生が来訪者に教える仕組みを ●市民が運営に参加 ・案内人ボランティアの常駐 ・運営を市民が担い、自主上映の映画会をやる 《まちのコンシェルジュの設置》 ●コンシェルジュのような案内人を設置したい ・「国立検定」に合格した「国立コンシェルジュ」を案内人として常駐させる 《まち歩きの仕事掛け》 ●「国立を知る」まち歩きを開催する ●スタンプラリーなど地域へつながる仕掛けがあると良い ●文教都市である国立と自然豊かな谷保が調和する仕掛けがあると良い ・文教都市国立と自然環境の谷保、うまくつながる仕掛けを！ ・農の発信 農業体験のスタート地とまち歩き、円形公園の池で田植え 《国立のモノづくり・小商いのPR》 ●国立でモノづくりや小商いなどを行っている人をPRする場所にしたい ・モノづくりをしている人を広く紹介 ・個人で頑張っている街中のお店に誘導、足を運ぶ流れを作る ・まちのお店のグルメフェアを行う ・職業体験コーナー ・小商いスペースを用意 《ケータリング》 ●外部でケータリングカフェなどを展開できると良い ・キッチンカーを使ったオープンカフェ、ビアホールとして活用 《イベント》 ●失敗も含めて新しくいろいろなことをチャレンジ ●イルミネーション、キャンドルナイトなど、夜をうまく使う ・クリスマスや桜の時期にプロジェクションマッピング ・学生はライトアップ大好き ●「桜のミスコン」を実施してはどうか ●結婚式で使う！ ●大学通りが舞台のイベント（LINK くにたち等）の範囲を旧駅舎まで伸ばす 《大きなイベントの拠点機能》 ●まちで行われる大型イベントの拠点として活用したい ・歩行者天国、マラソン、車いすマラソンなどのイベント拠点に 《災害時拠点機能》 ●駅前の帰宅困難者をカバーする機能が必要
----	---

全体	《子育て世帯向け機能》 ●子育て相談や暮らしの相談等、身近な相談案内所の機能がほしい ●子どもが使いたくなる施設、子育て世帯が使い易い施設にしてほしい 《まちの情報発信機能》 ●観光だけでなくさまざまな情報発信の場にしたい ・まちの情報が常に発信される場にしたい ・情報を見える化（壁面） ・市に点在する情報がここで見られる（天気、温度、ゴミの処理状況等） ・電子機器（タブレット、パソコン、スマホアプリ、ホームページ）で情報発信 ●国立市のコミュニティ FM を設置し、地域情報を発信 《デジタルサイネージ（電子ディスプレイ）》 ●待ち合わせながらまちの情報を収集できる場に ・デジタルサイネージで地元の人しか知らない穴場情報などを発信 ●デジタルアーカイブ ・子ども達の作品を展示、デジタル化してデジタルサイネージでいつでも見られる場に 《写真映え》 ●フォトジェニックな空間にしたい ・インスタ映えする空間づくり ・旧駅舎の中に撮影ポイントを！ ・フォトコンテストを開催 ●フィルムコミッションと連携してロケ地として活用したい ●みんなの人生の節目を撮影する「まちの写真スタジオ」として活用したい 《各室の関係》 ●各室で完結させずに、相互に行き来できるような工夫を ●中央（多目的室／観光案内室／展示室）の間仕切り、なんとかならないかな？ 《空間の演出》 ●きれいな照明で空間づくり（ライティングや光の採り入れ方で美しい空間を） ●桜をイメージした内装が良い ●旧国立駅舎に関わるいろいろなもの・ことをレトロな雰囲気にしたい ・思いきりレトロにしよう！ ●壁面を効果的に活用したい ●サイン計画（案内板など）に工夫がほしい ・サインデザインには、くにニャンを入れる ●バリアフリーに対応した施設にしたい 《外観や周辺環境》 ●旧国立駅舎の背面は、通勤客や通行人へ配慮を ・北側、西側が「裏」にならないよう見え方に気を使ってほしい（360 度意識） ●円形公園との一体性を持たせたい ・円形公園と一体化！円形公園に行きたい！ ●周辺の JR 敷地を開放的な、旧国立駅舎と相性の良い雰囲気にしてほしい ●インスタ映えを意識したまちづくりを（周囲から電線を排除するなど）
----	--

全体	●屋外も交流の場にしたい ・外構を工夫してほしい（レンガ、枕木等） ・市民の寄付で名前入りベンチを設置したい ●昔の風景の復活 ・かつて旧駅舎の西側に3月に咲く桜があった→敷地内に植樹をしたい 《管理室》 ●管理室を有効活用したい ・管理室をイベントの時などは託児場所に変更してほしい ・お母さんがおむつ替えや授乳できる場所が欲しい ・管理室を休み処（畳、ソファ）にしてほしい ・いろいろ活用したいが管理関係のスペースも必要 《扉の管理》 ●長い時間開放してほしい ・いつでも出入り自由に ・都心で働く人なども利用できるよう、開館時間はなるべく長いと良い ・始発から終電の間は開けておいてほしい ・いつも歩行者に通過してほしいのでドアは常時開放（自動ドアではないドアに） ●すべての扉を開放してほしい ・展示室の“締切”扉を開放してほしい（9:00～18:00 とか） ・東、西、北（特に西側）の出入口を時間を限定して開放
多目的室	《ネーミング／キャッチフレーズ》 ●遊びに行きたくなるようなネーミングやキャッチフレーズを作りたい ・「街・会わせ」…初めて国立と出会う場所！ ・渋谷のハチ公のような、待ち合わせ場所としてパッと頭に浮かぶネーミングを！ ・キャッチフレーズを作る→「赤い屋根のところで待ち合わせ」 《待ち合わせ場所/休憩場所》 ●待ち合わせ場所や休憩場所として機能させたい ・学生が下校時に友達と気軽に寄れる場所にしたい ・ママ友が会話できる場所にしたい ・日常的にフラッと立ち寄れる場所にしたい（待合室として座れるだけでも便利） ・集まり、交流できるようにベンチや小さな椅子・テーブルをたくさん置く ・用事がなくてもたまる場所にしたい（飲食や雑誌も読める） 《鉄道駅を想起させる》 ●昔の駅のイメージを大切にしたい空間に ・黒板・伝言板の復活 ・「記念きっぷ」を発行し、北側出入口（改札）で切ってくれる仕組みが欲しい 《JR 国立駅との関係》 ●現在の JR 国立駅の待合室としてうまく機能させたい ●JR 国立駅の延長としていつでも通り抜けられるようにしたい 《連携》 ●ギャラリーやショップとして、地元作家にスペースを貸し出す ●小さな音楽堂、音大とコラボ

多目的室	《イベント実施》 ●市民参画などさまざまなイベントを実施したい ・さまざまな市民参画の企画（雑貨・洋服屋、葉の相談会、子どものアートイベント、ワークショップ、卒業展、骨董のバザー等）を実施 ●音楽イベントを実施したい ・音楽イベントでわいわいする ・「国立の小聖堂」として使いたい（ステージスペース） ●大人を対象にした夜のイベントを開催したい ・ダンスホールや音楽会など、あえて年配など大人を対象に ・家に帰る前に寄りたい（飲食、イベント） ●若い人が集まるイベントを開催 ・夏フェス、ライブハウス ・大学生は駅を通過するだけで意外と愛着がないので、大学生の発表の場などに 《天井の扱い》 ●天井を外して吹き抜け空間にした方が良い ・大空間を体感できる場に！ ●天井にツバメの巣が再び作られるような支板を設置 ●半円窓まで活用 ・半円窓から大学通り（桜など）が見渡せるスポット 《その他》 ●人をひきつけ、和ませるツールとしての音楽・映像を ●まちの人が本を持ち寄る図書コーナーができると良い ・自由に閲覧できる資料を設置…多くの人が国立史に触れられる ●くにたち野菜の直売所があると良い ●宿泊体験ができると良い ●カフェができないのは残念
観光案内室	《ネーミング》 ●「まちの魅力案内所」というワクワクするネーミングはどうか 《まちのPR》 ●国立の案内 ・国立の良さをPRする ・商店街のインフォメーション ・市内の回遊性を高めるために、個人商店が一目でわかる地図を展示 ・情報が常に更新される「発信局」になると良い ・デジタルだけでなく、瓦版なども情報発信手段として使えると良い ・国立のまち全体がわかる案内（大画面で） ●文教都市であることをPRする空間づくりや企画を実施したい ・本のまちをイメージする空間と企画：古書店ツアー、文学とまち歩きの拠点 《販売》 ●地元の商店街、名産品、食などを販売・PRできると良い ・地元ゆかりのアーティストが監修・運営する国立セレクトショップ ・地元の食をPR ・国立 Style 認定品を日常時またはイベント時に展示、できれば販売してほしい

観光案内室	●旧国立駅舎モチーフのオリジナルグッズの販売 ・旧国立駅舎のプラモデルやフィギュアなどを販売する ・くにニャン切手を製作し販売する ●旧国立駅舎の絵馬を製作して販売し、谷保天満宮へ行くきっかけにする 《まち歩き・観光の拠点》 ●まち歩きの拠点として機能させる ・谷保までの回遊拠点として ・まち歩きマップを配布したい ・貸衣装：大正時代のコスチューム、セーラー服でまち歩き ・出札口の窓を通して何か渡したい（「まち歩ききっぷ」など） ●国立市内のさまざまな観光の拠点として機能させたい ・観光のフックの場に（タクリー号子ども神輿の移設、平兵衛祭り、定期市など） ・商工会と連携してレストラン情報を常備 《その他》 ●旧車祭を伝えるプレートや旧車そのものを設置するといいかも ●会議室としてレンタルしてはどうか ●観光案内室に直接出入りできる入口が必要では
展示室	《国立／旧国立駅舎にまつわるものの展示》 ●旧国立駅舎が中心のジオラマ模型を設置してほしい ・国立市全体を俯瞰できる模型を設置したい ・谷保も含めたミニチュアがあるといい ●旧国立駅舎の保存に関わった人の話を学べる映像などを流す ●国立の誕生から今までを、映写などして表現したい ●くにたち郷土文化館の出張展示ができると良い ●国立の動植物などの展示があると良い ●ギャラリーで市民や小中学生の作品展示ができると良い 《展示の工夫》 ●五感で感じられる展示があると良い ●AR・VRを活用 ●常設展示はなくて良い？ ・常設展はなるべく映像展示にして、詳しくはくにたち郷土文化館等へ誘導 ●文化財としての説明はいつでも見られるように屋外にパネルを設置する 《その他》 ●実は国立は鉄道のまちということをPRする ・鉄道模型博物館に ・ミニチュアレールで昔の中央線を走らせ、多世代が集える場所に ●学校の先生や学生がおススメする本が読める空間

その他	《公式ロゴマーク》 ●旧国立駅舎の公式ロゴマークを作る 《交流》 ●高齢者と子どもが出会い、交流できる場所にしたい ●一橋大学の学生・留学生との交流ができる場所にしたい 《外国人の来訪》 ●オリンピックをきっかけに外国人にも国立を知ってもらえるように 《他施設との連携》 ●公民館・大学と連携した企画を ●新たにできる国立駅南口複合公共施設と連携して市民講座を充実させたい ●文化育成の核として機能させたい 《周辺のまちや企業などの協力》 ●国立駅の北側から来る人もターゲットに→国分寺市・立川市と連携する ●ヤクルトなど地元企業に協力してもらう 《その他》 ●大学通りを桜の時期に歩行者天国に ●自転車のレンタルができる拠点になると良い ●いろいろな視点から「国立」を表現できる場にする ・国立→計画的住宅地・大学町、音楽村、国立と谷保、中央線のひとつ、団地 ●プラネタリウムがあると良い ●ロボットを活用した運営やサービスの提供ができると良い ・ロボットの活用→案内人をロボット化し、人件費を浮かせる ●子どもにも国立のことを考えるワークショップをしてほしい ●完成を見てから活用を考えたい ●火災の対策も必要（放火の心配） ●廃材でポストを作る ●安っぽい施設にしてほしくない
-----	--